

大型ハドロン計画と中性子科学研究計画の 推進に関する覚書

大強度陽子加速器を用いた科学技術の総合的展開を図るために、高エネルギー加速器研究機構（以下「機構」という。）と日本原子力研究所（以下「原研」という。）は、機構の大型ハドロン計画と原研の中性子科学研究計画を共同で推進することとした。本覚書は、機構と原研（以下「両機関」という。）が相互信頼に立って計画の策定及び施設の建設に係る連携・協力を進めるための基本的な考え方を定めるものである。

なお、施設建設後の運営に関しては、別途協議するものとする。

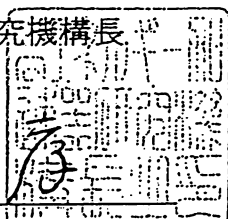
1. 両機関は、大型ハドロン計画と中性子科学研究計画の加速器及び実験施設を原研の東海研究所に建設するための統合計画を策定する。
2. 両機関は、機構・原研の代表、ユーザーコミュニティの代表及び学識経験者で構成される協議委員会を設置し、統合計画の推進にあたっての重要事項について協議委員会の意見を聴きつつ進める。
3. 統合計画の推進は、機構の大型ハドロン計画推進室と原研の東海研究所中性子科学研究センターを中心に編成される「共同推進チーム」によって行う。

平成11年3月18日

茨城県つくば市大穂1-1

高エネルギー加速器研究機構長

菅 亨 竟



東京都千代田区内幸町2-2-2

日本原子力研究所理事長

松浦 祥次郎

